

# セントヨゼフ女子学園 後援会

会報 Vol.5

会報

2020年6月  
セントヨゼフ女子学園  
<http://sjjg.ac.jp>



創立60周年を経て、学園の卒業生は現在約8,000名になります。これまで、その約一割が後援会会員として年会費にご協力いただきました。後援会発足後4年間でご厚志は合計690万円となり、深く感謝申し上げます。市内通学バスの支援や学習室の整備・拡充など、未来に羽ばたく後輩の皆さんのが健やかに学び生活する環境づくりに貢献でき、学校をはじめ生徒、保護者の方々より感謝の言葉が寄せられています。

## 会長あいさつ

新しく後援会新会長に就任いたしました、3期生の新良と申します。

会員のみなさまには、平素より後援会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

後援会は学園の発展と学習環境の向上に寄与することを目的として、卒業生・退職された先生方のご尽力により2016年に設立されました。設立にあたって森茂巳先生と5年の構想期間のあと、一年の準備委員会を経て今年で5年目を迎えました。三重県内唯一の女子校となったセントヨゼフ女子学園が、今後とも発展するために、お一人でも多くの方に後援会会員になっていただきたく存じます。明るい母校の未来のために“母校への恩返し”を旗印に、役員・評議委員とともに頑張ってまいります。



セントヨゼフ女子学園後援会  
会長 新良輝美

# 母校への恩返し

皆さん、学園で過ごした日々・・・どんな思い出がありますか？

五月晴れのなか初めて参加したマリア祭、バザーのた

したクリスマスキャロル。後輩の皆さんには今、私たち

母校への恩返し・・・その第一歩として、後援会の会員に登録していただけませんか？  
一人でも多くの皆さんのご協力をどうかよろしくお願ひいたします。

## 後援会の目標

- 学園の教育環境の整備と教育活動への支援
  - 学園の広報活動や生徒募集への支援
  - 後援会会員相互の親睦への支援



## 津市内からの生徒通学用 バス購入費用の一部を援助



渡り廊下のオープンスペース  
に家具を設置



津駅コンコースに学校の看板を設置



教育評論家 おおたとしまさ  
先生による講演会を実施



中勢バイパスの交差点にアスト津1階に学校の看板  
学園への案内看板を設置

# 理事長あいさつ

2016年に後援会が正式に発足して、早や4年目になります。これまで皆様が学園に後援会を通して、スクールバスをはじめ、在校生の姿の広告や創立60周年に設けられたオープンスペースの家具などその時々に必要な多くの物をご寄付くださいました。私はそれらを見るたびに、皆様方のヨゼフに対する熱い思い、優しい心を感じて本当に嬉しくなります。

少子化の現在、生徒募集は年々難しくなってきています。少人数だから出来る良いことは沢山ありますが、経済的にはとても厳しいです。皆さんが納めてくださっています会費は学校の必要性に応えて有効に使われています。本当に大きな援助であり、支えになっています。後援会の役員や会員の皆様方に、英語でも More than words could ever say...と言われるようになる言葉では言い尽くせぬほどの感謝です。

新型コロナ・ウイルス感染におかれられぬように、特に皆さんの健康と幸せをお祈り致しております。



セントヨゼフ女子学園  
理事長 中津 幹

## 役員紹介

今年は、30代、40代の若い世代の卒業生も後援会の活動に参加していただいています。仕事、家庭、子育てなど忙しいなかではありますが、母校のために、もっと多くの皆さんとともに活動したい！

後援会会員増へ力を合わせ取り組んでいこう！と張り切っています。



### 〈役員〉

会長 新良輝美（3期）	書記 内山 薫（10期）	会計 藤田絢雅（42期）
副会長 森 茂巳（旧職員）	フォレスト幹子（30期）	監事 川上政美（旧職員）
林 茂樹（旧職員）	会計 松田あけみ（17期）	荒田美智代（10期）
書記 山中てる子（2期）	村主貴美子（19期）	顧問 近藤康子（1期）

### 〈評議員〉

橘 優子（1期）	瀬古久美子（13期）	中村千尋（34期）	中井一久雄（旧事務長）
中山夕美子（1期）	荻原くるみ（15期）	樋口涼子（36期）	高尾美和子（旧職員）
西岡節子（7期）	山口淑恵（16期）	西川英恵（38期）	石川栄子（旧職員）
西川真理子（13期）	森川雅子（16期）	北川 保（旧職員）	

## 2019年度 会計報告

収入	緑越金	469,154
	利息	5
	振込金額	1,632,000
	後援会に直接届けられた金額	232,000
	合計	2,333,159

支出	振込手数料	68,197
	後援会会報送料	53,012
	後援会会報パンフ代	52,920
	後援会会員募集パンフ代	82,404
	卒業式祝電	6,853
	会議費・事務費	9,184
	セントヨゼフ女子学園への支援金	1,700,000
	2020年度へ緑越	360,589
	合計	2,333,159

## 2019年度 後援会活動報告

### 2019年

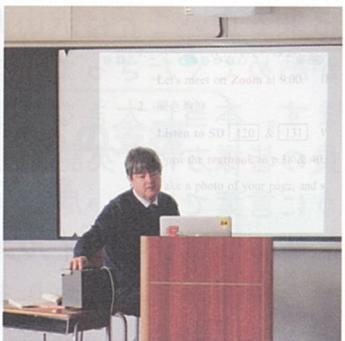
4月 2日	第1回役員会
4月 18日	第1回評議会
5月 2日	第2回役員会
5月 15日	第3回役員会 「後援会会報Vol.4」 発送
6月 5日	第4回役員会
6月 22日	「後援会会員募集」 発送
8月 21日	第5回役員会
10月 16日	第6回役員会
11月 14日	第7回役員会
12月 4日	第2回評議会

### 2020年

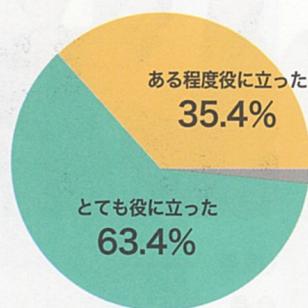
2月 7日	第8回役員会
3月 16日	第9回役員会

# 「オンライン授業」県下初

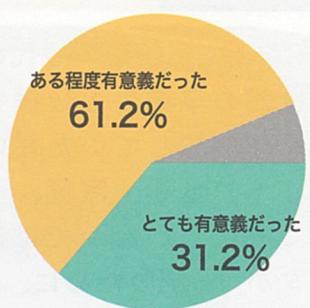
コロナ禍によって、生徒も先生もこれまでに経験したことのない体験をすることになりました。生徒が自宅に居ながらにしてのオンラインで繋ぐ授業。アンケート結果を見ると概ね有意義であったとの回答を得ています。



オンライン・ホームルームは生活リズムの維持に役立っていると感じましたか？



オンライン授業は有意義でしたか？



## 〈保護者の感想〉

今回の急な外出自粛で、学習の遅れが言われる中、素早い行動でオンライン授業を行なっていたいだいたのは親としては大変助かりました。最初の頃はちゃんとできるか不安はありました。子供自身も回を重ねる毎に手際良くなり、何も問題なく授業を受けていたと思います。

教科によっては習熟度別に分かれての授業だったので感心しました。今回のオンライン授業の成果がどの様に現れるか楽しみです。



## 〈生徒の感想〉

オンライン授業での私が良いと感じたところは、家にいるので新学期の緊張が余り無くリラックスして取り組む事が出来たり、家に居るので忘れ物がないと言うところかなと思います。ですが、学校へ行って直接対面をしていないのできちんと勉強した感じが余り感じられず予習したが学校できちんと勉強していない、という感覚になってしまいます。オンラインでの授業は基本的に先生方が一方的に授業や連絡を話しておられるので同級生の反応や考えを知ることは難しく意見の共有が十分に出来ず寂しく思います。休講期間中のオンライン授業は自分の集中力が試されるものだと感じられます。

不自由なところも多々ありましたが、先生方が一生懸命工夫を施してくださったおかげで無事授業を受けることが出来ました。先生方にはとても感謝しています。



11月16・17日、東京ビッグサイトにて開催された第13回全日本高校模擬国連大会に5年生4名が出場しました。生徒たちはペアを組み、フィンランド大使とバングラディッシュ大使として熱く議論を重ねました。その準備も大変で、膨大な量の日英文の資料と格闘しつつ複雑な戦略を練るなどしました。

熊本信愛女子学院からの呼びかけで、「女子高生サミット in KUMAMOTO」が開催され、本校から代表が参加しました。これから女性の社会参画や土台作りをテーマとして議論や意見交換を行いました。



10月20日に行われた皇學館大学第20回高校生英語スピーチコンテストにおいて、4年生2名が準優勝と特別賞、5年生の生徒が第3位に入賞しました。



11月3日にeisu倶楽部湯の山において開催された「セイイン英語ジム ボキャブラリーコンテスト」において、中学生の部で3年生の生徒が優勝しました。

その他、さまざまな成果をあげています。また、ウォーカソン、バザー、クリスマスページントなどの行事や、地域の小学校へ訪問し英語で交流する Let's Enjoy English など様々な活動をしています。

## 学園インフォメーション 《小学生のご参加を歓迎!》

- |              |                                |
|--------------|--------------------------------|
| 8/2(日)       | AO入試説明会                        |
| 8/3(月)~6(木)  | オープンスクールウイーク（中学生対象）            |
| 9/27(日)      | 入試説明会①・プレテスト                   |
| 10/31(土)     | 授業見学会②                         |
| 11/15(日)     | 入試説明会②・高校入試トライアル               |
| 11/22(日)     | 第11回津市長杯小・中学生英語<br>スピーチコンテスト本選 |
| 12/4(金)~6(日) | 入試直前相談会                        |
| 12/5(土)、6(日) | 高校入試説明会                        |
| 1/4(月)、5(火)  | 中学AO入試                         |
| 1/9(土)       | 中学一般入試                         |
| 1/29(金)      | 高校入試                           |
| 2/6(土)       | 授業見学会③                         |



詳細は学校のホームページをご覧ください

41期生 萩原 里英さん



現在私はアラブ首長国連邦のドバイでエミレーツ航空の客室乗務員をしています。

もともと日系航空会社で3年間、国内線を乗務した経験があり、業務内容を理解することは難しくなかったのですが、多国籍の同僚と文化、宗教の入り混じる環境でしごとをし、生活していくには衝撃と障害が多く、忍耐力の問われる毎日でした。

今の仕事を選んだきっかけは、いろいろな場所に飛び、世界を見たかったこともあります、せっかく学んだ英語を活かしたいというのが一番でした。セントヨゼフでは英語の成績が良いほうではありませんでしたが、英語の授業時間もネイティブスピーカーの先生と触れ合う機会も、他の学校より多かったおかげか、大学や社会に出るといつの間にか英語ができる人と言われていました。国内線だけで乗務しているのはもったいないと言われ、いろいろな国と人に出会える、国際的な航空会社を意識するようになりました。

最初は文法的に正しいはずの英語が伝わらず、心が折れそうになっていた仕事も、今はチキン or ビーフを提供する以外にも、お客様に喜んでいただけるサービスができた時に、やりがいを感じるようになりました。同僚の多くは信心深く、キリスト教であれば離陸、着陸前に十字架を切り旅の安全を祈ったり、イスラム教であればサービス中でも時間になると絨毯を敷いて、お祈りをはじめたりします。

セントヨゼフ在学中に何人かの留学生と交流できしたこと、アメリカ研修で多国籍文化に触れることが出来たことは、今の私の生活にとても大きな影響を与えており、母校にとても感謝しています。これからもたくさんの卒業生が、色々なところで活躍していくことを心より楽しみにしています。

## 文芸の窓②

白  
しら  
魚  
うを

あけぼのや白魚しろきこと一寸 芭蕉

この句は松尾芭蕉が三重の桑名で詠みました。白魚は細身の半透明な小さな魚ですが、芭蕉が貞享元年（一六八四）の冬、浜に出て白魚を掬い取ったと「野ざらし紀行」にあります。

そして、今も桑名の赤須賀漁港では白魚漁がさかんです。春の季語ですが漁港から雪の御嶽山が見える一、二月ごろ白魚船が盛んに出入りします。二艘の船が寄り添うように舵を取り、ゆっくりと底引き網を曳く様子は見とれるばかりです。今年も二月の曇り空の寒い日、漁港へ足を運びました。寒風が吹きすさびます。

桑名けふ薄日のさして白魚汲む  
揖斐川を白魚船の戻りくる  
雪領や二艘の船の曳きあひつ  
の三句を詠みました。

この日は船溜まりのレストラン「蛤プラザ」で白魚丼をいただきました。売切れの立て札が出るとおしまい。早々に並んで味わった白魚の卵とじは、午後の句会の前のささやかな喜びがありました。



山中てる子（俳名綾）  
(2期生)

# セントヨゼフ女子学園後援会 趣意書

セントヨゼフ女子学園は「愛と奉仕の精神」を建学の精神に掲げ、1959年の創立以来、優れた知性と豊かな感性を育み、様々な場で活躍する女性の育成に取り組んでまいりました。また、いのちを宿し育む女性、かつ品性と知性を備え自立した女性として国際社会にも貢献する全人教育を実践してきました。学園は三重の地で特色ある女子教育の場として認められてきました。このことは関係するものにとって誇りであり、心の拠り所でもあります。

これまで学園では、英語教育・海外研修プログラムの確立と実践、奉仕活動プログラムの拡充やIT教育の充実などに力を入れてまいりました。

そしていま、新しい時代に対応した、よりプロフェッショナルな取り組みが必要となってきています。しかしながら、新たな課題に対する積極的な予算投資は厳しく、限られた中で対応を進めているのが現況であります。

このような状況を鑑み、施設設備や諸活動の充実、さらには学園の輝かしい発展を願い、学園の卒業生・旧職員・有志によってセントヨゼフ女子学園後援会を2016年4月1日に設立致しました。

こうした趣旨にご賛同を賜り、皆さま方より特段のご支援をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

## 年会費 納入方法

- ①年間一口2,000円。（何口でも納入できます）
- ②下記のゆうちょ銀行「払込取扱票」をご利用ください。  
この受領証を持って領収書とさせて頂きます。
- ③他銀行からゆうちょ銀行への振込み方法  
口座名：セントヨゼフ女子学園後援会  
口座番号：店番089 当座0136486
- ④納入期限：12月末までに納入していただければ幸いです。



後援会の情報はセントヨゼフ女子学園のホームページから「後援してくださる方」をクリックしてください。

## 後援会Q&A・年会費納入方法

Q. 後援会ではどんな活動をしていますか？

A. 学園の施設・活動の充実や生徒募集の広報などへの支援をおこなっています。

Q. 後援会会員にはどんな方がいますか？

A. 学園の卒業生、退職された先生などです。

Q. 後援会に入会するには？

A. 下記のゆうちょ銀行「払込取扱票」で年会費を納入してください。

(年会費は、一口2,000円。何口でも納入できます。)

※この受領証をもって領収証とさせていただきます。

Q. 他銀行からゆうちょ銀行へ振り込むには？

A. (口座名) セントヨゼフ女子学園後援会

(口座番号) 店番089

(当座) 0136486

Q. 納入期限はありますか？

A. 12月末までに納入していただければ幸いです。

今年度は会報のみ発行いたします。

後援会活動へのご意見などを  
ご連絡ください。

お問い合わせ先 (セントヨゼフ女子学園事務室)  
セントヨゼフ女子学園後援会

住 所：〒514-0823 三重県津市半田1330  
電 話：059-227-6465 ・ 090-1757-2915 (会長：新良)  
F A X：059-227-6466 ・ E-mail : sjkouen@gmail.com

## 編集後記

コロナ禍で休校中のセントヨゼフは、入学時に配布された学習用タブレットを使って、県下初のオンライン授業を始めました。県教育委員会の視察がありました。NHKニュースや新聞にも、取り上げられ大いに話題になりました。シスター中津理事長は「少人数だからできた」とおっしゃっていましたが、母校がこのように注目されて、卒業生としてとても喜ばしいことで誇りです。

中2になった孫が「家にいても授業が受けられるので安心できた。でも、早く学校で友達と一緒に勉強をしたい」と言っていました。セントヨゼフで良かったと思われた保護者の方も、多かったのではないでしょうか。これが生徒募集に繋がればと思っています。

## セントヨゼフ女子学園への寄付金

学園に直接、寄付をしていただくと寄付金控除を受けることができます。確定申告をすることにより還付されます。

随時、寄付金をお受けできますが申込書が必要です。まず学園事務所までご連絡ください。

### (ご注意)

- この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口にお預けになるときは、引換券を必ずお受け取りください。
- ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙

課税相当額以上

貼付

印

この場所には、何も記載しないでください。